

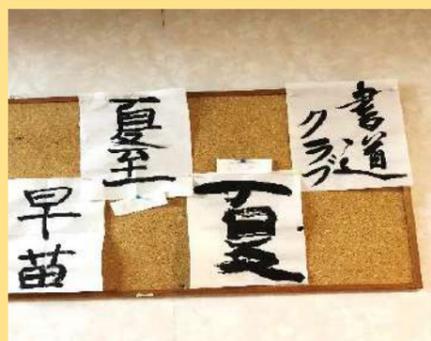
### 大野小学校からのプレゼント

大野小学校児童の皆さんから笹飾りと手をいただきました。  
毎年七月の交流会で笹飾りを一緒に作っていたのですが、今年はコロナウイルスの影響で残念ながら交流会を行なうことができませんでした。  
頂いた笹飾りは早速飾らせていただき、利用者、職員ともに晴れやかな気持ちで七夕を迎える事が出来ました。ステキなプレゼントありがとうございました。



### 書道部始動!!

今年度から書道部が発足されました!!  
字を書くという事は指先のトレーニングや集中力の向上など様々な効果があります。  
利用者も日常生活で字を書く機会はそう多くはない為、余暇活動を通して字を書く事の楽しさを伝えていきたいと思ひます。  
そしていずれは展覧会に出展を目指す等の目標も掲げていきたいと思ひます!



### 納涼会食会

現在コロナ禍にて全行事が中止となっておりますが、こんな中だからこそ少しでも利用者楽しんでいただける様に新型コロナウイルス対策を十分に行った上で、納涼会食会という形で実施させていただきました。会食会では8月下旬に利用者のアンケートで選ばれた屋台料理「焼きそば、フランクフルト、唐揚げ、水まんじゅう」が夕食のテーブルに並びました。利用者は普段とはひと味違う屋台料理を召し上がられ、お祭り気分を楽しまれました。



### 編集後記

遂に、、、遂に「るりこう通信」第10号発刊となりました!!この10号を手に取り読んでいただいている皆さん、ありがとうございます!さて、10号と節目を迎えるわけなんです、今号からの変化に皆さんお気づきでしょうか、、、そうなんです!今号から広報誌のタイトルを「るりこう園通信」から、「るりこう通信」にリニューアル致しました!創刊時は「るりこう園」の広報誌として名付けたのですが、「かがやき」「きらっと」を開設してからはそちらの情報も載せているので若干の違和感が、、、ちなみに法人名の瑠璃光会からなまえをいただきました。(実は7号から編集委員一同で名前変えなくちゃな—と言っていたのは内緒。)  
(生活支援員 中岡勇士)

社会福祉法人  
瑠璃光会

障がい者支援施設 るりこう園/福祉ホーム サンライズ野上野  
〒528-0224 滋賀県甲賀市土山町野上野 497  
Tel:0748-66-1345 FAX:0748-66-1065  
E-mail rurikouen@ac-koka.ne.jp  
障がい者支援センター かがやき/きらっと/ろーぶ  
〒528-0037 滋賀県甲賀市水口町本綾野 1978-7  
Tel:0748-65-2717 FAX:0748-65-2718



## るりこう園の1日

～職員の普段見られない一日を紹介～

### るりこう園職員の一日の動きを紹介します

るりこう園では入所の支援員、通所の支援員、ホームヘルプの支援員がいます。同じ施設内で共に働いている仲間ですが、意外と他の支援員の動きは分からないものです。  
今号では職員にスポットライトを当て、特集しました。

### 目次

園内での感染予防の取り組み…P 2	コロナ禍での日課活動 …P3
特集☆職員の一日の動き…P4・5	新たな取り組み/編集後記…P6

滋賀県においても、最近、病院や介護施設で新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生しています。身近なところでも、クラスター感染が発生しました。感染された入所者、職員の大半は軽症・無症状だったようで、クラスターの起こった施設では、感染者は軽症・無症状の方が多いと報道されています。しかし、新型コロナウイルスは未知の部分も多く、高齢者、基礎疾患のある方は重症化するケースがあり、お亡くなりになる方もおられます。ワクチンの開発も急がれていますが、現時点では特效薬はありません。私たち職員も気を引き締めて、より一層の感染症対策に取り組むべく努めてまいります。

## コロナ禍での対応 ～感染しない為の取り組み～



新型コロナウイルスによる感染拡大の不安が広がる中、利用者の皆様には、ご家族の面会制限、外出や行事の自粛など、例年とは異なる生活に戸惑いや寂しさを感じておられる状態です。

しかしながら我々現場の職員としましては利用者の皆様の命を守る事を最優先として、ウイルスを施設内に持ち込まない事は当然の事、感染予防への意識と技術を一人一人がさらに向上できるように感染症対策委員会を設置して看護師を中心に感染防止対策に取り組んでいます。

具体的には、感染予防の基本である手洗いと手指消毒(1介助=1消毒)を始め、全館の換気、施設内の消毒、介助用手袋やガウンの正しい使用、マスクやフェイスガードの使用などについて、全員がその目的や方法を周知して徹底できるよう取り組んでいます。

また言葉だけで周知するのではなく、目や耳を通して意識できるように、各所に手順書(マニュアル)やポスターを掲示したり、換気の時間に音楽を流す等の工夫も取り入れて取り組んでいます。

感染症対策においては、もし自分が感染すれば、自分の周りの人にも感染させてしまうという認識を職員全体が持つことが重要です。その為にもお互いの行動に対して協力を依頼し合える環境作りにも力を入れています。



るりこう園では

【うつされない うつさない

濃厚接触者にならない】

を目標にコロナ終息まで感染者0を目指します。

## コロナ禍での対応

～現在の日課活動～

現在利用者の皆様には感染防止の観点から出来るだけ居室で過ごしていただいているところです。食事中も普段ならワイワイと楽し気な声が聞こえていますが、今は出来るだけ飛沫を減らすよう会話を最小限にさせていただいております。しかしその中でも出来ることとしてるりこう園内では少しずつ元の生活を送って頂けるよう、少人数(1~3名程度)で密を避けながら少しでもこの窮屈な生活を楽しめるよう7月から日課活動を再開しストレスを発散していただこうと取り組んでいます。

### 機能訓練

現在交流ホームを通所の利用者が使用されている為、場所をデイルームへ移し行なっています。内容は計3名の利用者を20分間平行棒や、四点杖、プラットフォームを利用し、訓練をおこなっていただいています。もちろん消毒、換気は徹底して行ない、誘導についても接触が少ないよう職員が行って対応しています。



### 陶芸部

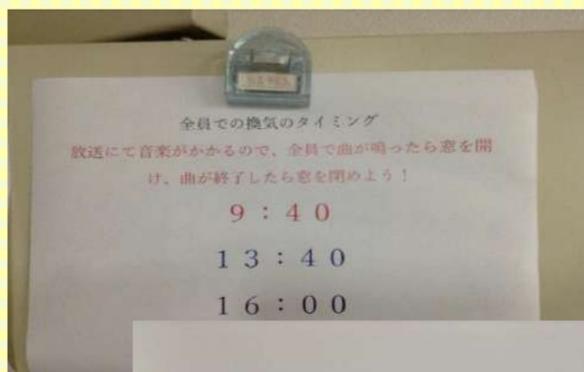
陶芸部は最大の人数を4名とし、向かい合わないよう、一定方向を向いていただき1メートルの間隔が空くように利用者にテーブルへ着いていただいています。会話も極力避け、作業に集中していただいています。作業開始前、作業終了後は消毒を徹底しています。



### パソコンクラブ・将棋クラブ

パソコンクラブでは今まではデイルームパソコン2台を利用し隣り合って使用していただいていたが現在は1台のみ利用し、パソコン担当の職員と利用者1名で家族への手紙をWordで作成していただいたり、時にはインターネットを利用して外出が再開した際にはこの服を買いだいな～とイメージを膨らませておられます。

将棋クラブではデイルームに置いてある巨大な将棋盤や通常サイズの将棋盤を使用し、職員との1対1で対局を行なっています。コロナ流行前は観戦しに来られる利用者もおられました。現在は密になる為声掛けを行ない、周りに人が集まらないように行なっていますが、周りに人がいないと調子が中々上がらない利用者さんもおられます。



# 特集 りりこ園の1日。

現在、りりこ園では入所・通所・ホームヘルプの3つのサービス提供を行っています。今号では、それぞれの部署に所属している職員が、日頃どのような支援をしているのかを皆様にご紹介致します。

## 入所編 (入所に関しては3交代勤務のため、今号では日勤のお仕事をご紹介します。)

### 朝食



出勤するとまず行うのが記録の確認です。入所されている利用者の様子や健康状態等を細かく把握してから業務に取りかかることで、より適切な介助を行うことができます。

利用者によって介助方法は様々です。おいしく食事をしていただけるよう、利用者に合わせて介助を心掛けています。



利用者さんの朝食が終わると、職員ミーティングを行い、職員間で利用者さんの情報共有を行います。

そして午前の日課活動が始まります。午前には、入浴介助や関節可動域改善訓練の他、クラブ活動も行います。(写真上・浴室 写真下・陶芸部)

午前の日課活動が終わると、昼食の準備・昼食介助を行います。



14時になると午後の日課活動が始まります。午後の主な活動として、入浴介助や機能訓練、言語訓練、レクリエーション活動、クラブ活動(音楽クラブ・陶芸部・手芸部・華道部・書道部・パソコンクラブ等)など、様々な活動の場を提供しています。

右の写真は、上段右が機能訓練、上段左が言語訓練、下段右が書道部、下段左がレクリエーションの活動風景です。

大学で学んだ書道の経験を生かして、書道部を発足しました。自身の経験が、利用者の喜びにつながるので、やりがいを感じます。現在は毛筆で作品づくりに取り組んでいます。

8:30

10:00

12:00

14:00

17:30

## 通所編



出勤すると、まず利用者のご自宅までお迎えにあがります。りりこ園の近くから通っている方もいれば、隣りの市から遙々と通ってこられる方もいます。

## ホームヘルプ編

### ミーティング

出勤すると、まず行うのが1日の予定等の打ち合わせです。職員ひとりひとりお手伝いに行くところが違うので、お互いに予定の確認は必須です。



### ホームヘルプに出掛けます

予定表に基づいて、担当の利用者さんのご自宅へ出向き、家事や買い物、通院のお手伝いをします。日によって、お手伝いさせていただく利用者や時間・介助内容は様々です。



## 昼食



利用者の方がりりこ園に到着されると、まず健康状態の確認を行います。健康状態の確認が終わると午前の活動として、運動やレクリエーション、創作活動を行います。

左の写真は、様々な野菜を輪切りにして作った野菜スタンプです。



上の写真は、絵画活動で利用者さんが花火の絵を描かれているところです。現在は、感染症拡散防止の観点から行っていませんが、入所利用者と共に活動することもあり、交流の場ともなっています。

## 入浴

ホームヘルプは利用者のご自宅にお伺い、お手伝いをするだけではありません。りりこ園の風呂を利用される利用者の、入浴介助も行っています。



## 夕食

さて、14時になると午後の活動が始まります。午後も午前と同様に、運動やレクリエーション活動、創作活動を行います。



上の写真は、レクリエーション活動でボッチャを行った時の写真です。りりこ園では、積極的にボッチャを行っており、講師を呼んでボッチャ教室を開くこともあります。

## 帰宅

